

令和5年度

施政方針要旨

飯島町

<はじめに>

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ウクライナ紛争等による物価高騰の影響により、国民生活はこれまでに類を見ないほどの困難な状況であり、食料品や生活必需品、燃料・光熱水費などの価格高騰は、町民生活や地域経済に大きな打撃を与えています。

当町では、数回の補正予算による措置を講じ、感染拡大防止と物価高騰・経済活性化の両立を図りながら、住民の生活を守るための取り組みを進めてきました。

<経済情勢と国の予算編成>

- 内閣府発表の2月の月例経済報告では、わが国の経済の先行きは、「ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。」とされている。
- 昨年6月、「経済財政運営と改革の基本方針2022」が閣議決定され、新しい資本主義に向けた改革として、「人への投資と分配」「GX（グリーン・トランスフォーメーション）への投資」「DX（デジタル・トランスフォーメーション）への投資」などを重点投資分野として取り組みながら、経済・財政一体改革を着実に推進することなどが盛り込まれた。
- 昨年10月、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が閣議決定され、予算・税制、規制・制度改革などあらゆる政策手段を活用した経済対策を速やかに実行し、日本経済を持続可能で一段高い成長に乗せ、再生するとしている。
- 令和5年度の国家予算は、「歴史の転換期にあって、日本が直面する内外の重要課

題の解決に道筋をつけ、未来を切り拓くための予算」として編成された。

【主な内容】

- ・防衛力の抜本的な強化
- ・「こども家庭庁」の創設によるこども子育て支援の強化
- ・GXの実現に向けた民間投資を支援する仕組みの創設
- ・地方公共団体のデジタル実装の加速化や地方創生に資する取り組みへの支援
- ・新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策として予備費を措置

【一般会計予算】

- 総額（平成以降、最大規模）
約114兆3,800億円
（前年度比6.3%、約6兆7,800億円の増）
- 歳出
 - ・防衛関係費が前年度比89.4%、約4兆8,000億円の増
 - ・地方交付税交付金等は前年度比3.3%、約5,200億円の増
- 歳入
 - ・税収は前年度比6.4%、約4兆2,000億円の増

<地方財政>

令和5年度の国の地方財政対策では、歳入は、地方特例交付金、地方債を減額する一方、地方税、地方交付税、国庫支出金を増額した。

歳出は、交付税では、地域社会のデジタル化を推進する「地域デジタル社会推進費」が令和7年度まで延長のほか、自治体の公共施設に関する光熱費の高騰分が措置されるなど、地方公共団体の安定的な財政運営を行えるよう配慮された。

- 令和5年度地方財政計画の規模
 - ・総額約92兆400億円
（前年度比1.6%、約1兆4,400億円の増）
 - ・地方交付税総額は、約18兆3,600億円
（前年度比1.7%、約3,100億円の増）
 - ・臨時財政対策債は、約9,900億円
（前年度比44.1%、約7,900億円の減）

地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な交付税総額は、約4,800億円の減

<令和5年度予算編成の考え方・

重点事項>

近い将来に開通するリニア中央新幹線や三遠南信自動車道により、伊那谷は新しいステージを迎える中、飯島町の自然豊かな田園風景のある居住空間の魅力と、大都市から1時間の地理的条件の魅力に加え、生活環境の利便性を強化する施策を大いにアピールし、コロナ禍により地方への関心が再認識されている今こそ、戦略的に仕掛ける時です。

令和5年度予算は、人口増対策として、昨年度から実施している手厚い住宅取得支援策に続く施策として、「子育てと仕事の両立支援」を目標に掲げ、子育て支援に力を入れて取り組めます。

●保育園の受入れ体制強化

- ・保育士（会計年度任用職員）の処遇改善として「定着支援金」や「宿舍支援金」を支給
- ・未満児の紙おむつの処分を保育園で行うことで、保護者の負担軽減を図ります。

●子育てしやすい環境の整備

- ・奨学金を返還するUターン者への支援として「奨学金返還金補助金」の創設
- ・学童クラブ教材費を町が全額負担します。
- ・不妊・不育症の悩みを抱える方に対応するため、相談員を配置し、支援体制を充実します。

●2つの重点プロジェクト

「飯島町環境循環ライフ構想プロジェクト」

- ・水力発電は、引き続き導入可能性調査の実施
- ・バイオマス発電は、事業化に向けた民間企業等連携先の確保への取り組み
- ・飯島流ワーケーション事業は、コロナ禍の終息を見据え、企業等に対するPR活動の推進
- ・アグリイノベーション2030は、レディ

ースファームの実践に向け、女性が働きやすい環境整備支援や、民間事業者との調整を推進

*自然・農業・文化・人材資源を活用した関係人口の創出として、町民や民間企業の協力による各種体験プログラムの充実により、滞在型の「都市と農村との交流による関係人口の創出」を促進

「人口増プロジェクト」

- ・定住施策では、「UIJターン就業・創業移住支援事業補助金」の創設
- ・「飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金」や「リフォーム補助金」の継続

そのほか、デジタル化の推進や情報発信の強化、コロナ対策、商業振興、飯島版お助け隊を始めとした地域共生社会の推進など、多くの課題と住民要望にも総合的に対応するため、新年度予算は、各種補助事業や基金等を活用しながら町の将来への持続性を確保するための予算として編成しました。

<予算規模の概要>

令和5年度の各会計の予算概要

●一般会計

54億2,600万円

（前年度比2億2,700万円、4.4%の増）

平成以降、最大規模。

●国民健康保険特別会計

約9億600万円

（前年度比約4,700万円、5.0%の減）

保健事業納付金と保険給付費の減を見込み、全体で減額。

●後期高齢者医療特別会計

約1億6,700万円

（前年度比約1,000万円、6.9%の増）

医療費及び被保険者の増を見込み増額

●介護保険特別会計

約11億1,400万円

（前年度比約1,300万円、1.2%の減）

町の高齢化率は上昇の一方、保険給付費

の実績等により減額

●水道事業会計

約4億3,900万円

(前年度と同規模)

老朽配水管布設替え工事費を計上、中川村との広域連携による用水供給事業は、絡管整備工事費を計上

●下水道事業会計

約11億300万円

(前年度比約2億200万円、22.5%の増)

移動脱水車更新事業費を計上

◆6会計の合計予算規模

約91億5,700万円

(前年度比3億7,800万円4.3%の増)

<一般会計の歳入の概要>

●町税

・町民税は4.3%の増

・固定資産税は2.6%の増

(企業経営安定、就業者収入安定を見込む)

・町税全体

(前年度比約3,300万円の増)

●地方譲与税・各種交付金・地方交付税

・地方譲与税と各種交付金

全体では約2,400万円の減

・地方交付税

普通交付税が10.9%の増、特別地方交付税は16.7%の増を見込み、全体では前年度比2億1,300万円の増

(予算編成時における国や県の情報、前年度までの交付実績からそれぞれ試算)

●県支出金

前年度比8.3%、約3,300万円の減

(摺鉢窪避難小屋改修事業、中山間地農業ルネッサンス推進事業等の減)

●繰入金

前年度比15.2%、約5,700万円の減

(財源不足を補うため、各基金から繰入)

●町債

・臨時財政対策債

(前年度比3,200万円減の2,400万円)

・その他起債(道路や公共施設等)

(前年度比約8,200万円増)

<施策の概要>

第6次総合計画に基づく、主な基本構想別の事業(前段で触れた重点施策事業を除く)

第1 『住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり』

●役場の防災無線操作卓改修

・老朽化に伴う改修に併せ、音声合成放送・電話応答装置を追加

●機能別消防団員制度の導入

・平日の火災等に出動する消防団員数の確保を図るため、有事の際に限り出動

●電話でお金詐欺被害防止対策事業補助金の創設

・被害防止機器の購入やサービス加入に対する支援

第2 『美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ』

●地球温暖化対策勉強会の実施

・「飯島町カーボンニュートラル宣言」の実現に向け、意識醸成を図る勉強会の開催

●地球温暖化対策設備設置補助金の創設

・家庭用蓄電システム、電気自動車等充電システムの設置等に対する支援

第3 『誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり』

●不妊・不育相談員の設置

・検査・治療方法に関する情報を提供

●不妊治療費の助成額の拡充

・出産・子育て応援給付金の支給

●遠隔手話通話システムの導入

・聴覚障害の方が、通話者の同行ができない場合でも通話可能なシステムの導入

- フレイル予防教室の開催数を増
 - ・2会場3コースから2会場4コースに増やし、コミュニティづくりや運動習慣を身に着ける機会の増

第4 『地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり』

- スマート農業推進事業補助金の創設
 - ・農業者が導入するスマート農業機械等への購入支援
- 女性の就農環境改善対策事業
 - ・女性が働きやすい環境を整備[トイレや更衣室等]に対する支援
- 圃場整備の推進(日曾利地区、島河原地区)
 - ・持続可能な農業生産と農業基盤の整備
- 産業立地促進補助金・産業立地促進土地流動化補助金の創設
 - ・企業立地を計画する企業に対し、用地取得費や、土地を売却する所有者の方への譲渡所得等の課税相当額を支援

第5 『暮らしを支える強靱で快適なライフラインの創造』

- 社会資本整備総合交付金事業
 - ・南田切線、高尾本線、鳥居原横断線の道路改良工事
- 町道整備事業
 - ・柏木北線の測量設計、丸山線工事
- 林道整備事業
 - ・横根山線整備(企業局助成事業)
- 町営住宅の除却・改修工事
 - ・豊岡と舟久保の除却に向けた設計と、除却住宅入居者の移転先である町営住宅の改修

第6 『魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり』

- 飯島流ワーケーション事業
 - ・コロナ禍の終息を見据え、企業等に対するPR活動の積極化

- 千人塚公園マレットゴルフ場のトイレ等改修工事
- 与田切公園再生整備計画書作成業務
 - ・再生整備の方向性について計画を策定
- UIJターン就業・創業移住支援事業補助金の創設
 - ・東京圏などからの移住者に対する支援
- 「光をそそぐマイホーム取得補助金」や「リフォーム補助金」の継続

第7 『子どもの元気』と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし

- ICT教育推進事業(校内ライブ放送システムの構築)
 - ・カメラ映像やお知らせを校内に一斉放送するシステムを整備することにより、情報連絡体制や密集対策を強化
- 飯島小学校スクールバスの増便
 - ・下校時間の短縮と安全な通学体制の強化
- 田切公民館改修工事
 - ・指定避難所としての機能強化
- 柏木運動場改修・詳細設計業務
 - ・令和10年度に長野県で開催される「国民スポーツ大会」のホッケー競技サブ会場

<おすびに>

令和5年度は、第6次総合計画の3年度目として、町の将来像実現のため、引き続き、戦略的に各種事業に取り組むとともに、コロナ禍の終息に向けて、3年間で分断された地域コミュニティの再構築や地域経済の復興を進めます。

また、町民の生活実態を的確に把握し、きめ細やかな情報提供や生活サポートなど、暮らしを守るための各種事業を適切な時期に実行することが、町民の皆様へ信頼される行政運営であると考えます。

町民の皆様からの負託と信頼に応えるため、町長以下職員が新たな発想と行動力を発揮し、全力で行財政運営に取り組みます。